

# 安心・安全・希望につながる行政運営を

委員長 小野 昌士

## 審査の状況・結果

中条デイサービスセンター  
ター空調取替工事

○中条デイサービスセンター空調取替工事費196万円は老朽化、水害等で、今回新しく取り替える費用である。

なぜ6月補正なのか、高齢者が利用する施設であることを考えれば平時の保守点検に問題があったのでは、指定管理施設契約に設備器具の保守管理はどのように対応するか指示していないのか、等の委員からの指摘があり、今後指定管理施設の保守管理について指導徹底し、利用者に支障をきたさないようにすると回答があった。

## 私立保育所保育士処遇改善補助

○私立保育所保育士処遇改善補助費702万円は国が待機児童ゼロ作戦で保育所整備・認定こども園整備・保育士確保等で都道府県に「安心こども基金」をつくり、それぞれで整備するものである。

今回の補助金は、私立保育所の乳児から4歳以上それぞれの児童数(4月1日現在)に単価を乗じて算出される。

委員からの、職員の処遇改善に使用しないで運営費の内部留保にする心配はないのかの意見があり、職員の賃金改善が目的であり、申請・実績報告も提出することとなっており、そうした心配はないとのことである。

教育民生常任委員会に付託された一般会計及び各特別会計補正予算などの議案は、審査の結果、全て「可決すべし」としたので、主なものを報告する。



子育て環境の改善は未来につながる

## 所管事項

### 風疹の予防接種

○風疹の予防接種は、ある町では妊娠の可能性のある女性らに予防接種費用を全額補助しているとのことである。町では妊婦とその夫を対象に7月から8月にかけて集団接種方式で実施するよう準備を進めており、50人分のワクチンは確保している

が150人を見込んでおり、不足分は、はしかと風疹の混合ワクチンの確保に努めたい、助成については風疹ワクチン2000円、混合ワクチン4000円、個人負担はいずれの場合も4000円としたいとのことである。委員からの4000円の個人負担は高すぎる、無料にするか、もう少し安くならないか等の指摘については、自己負担額について再検討したいことである。

## 高齢者世帯の災害対応

○高齢者世帯の災害対応、見守り等は、自治会長や民生委員等の協力が不可欠で、高齢世帯の情報共有をすべきではないかとの意見があり、要援護台帳を作成し情報を共有利用できるよう条例改正等も含め検討すること。



万が一の時の体制づくりを

## 国保税引き上げ

○国民健康保険税が今年度4月より引き上げられ各世帯に決定税額が通知される。高齢者を中心として理解されていない世帯も多いと推察され、担当者はより丁寧な説明をするよう指摘した。

## 教育文化振興財団の運営

○隠岐の島町教育文化振興財団は、本年4月に公益財団法人としてスタートした。新理事長は「新しい葡萄酒は新しい革袋に」と挨拶し、地域活性化につながる財団を目指して頑張るとのことである。

委員から昨年度のコロナ禍で総計の赤字を総合体育館会計で処理するのは問題があるとの指摘もあり、教育委員会はしっかりと財団の指導するよう指摘をした。



健全な財団運営を

# 隠岐広域連合議会

## 3月26日第1回臨時議会

■ 隠岐病院に麻酔科を設置するため条例改正をした。

■ 隠岐病院の積み立て義務が廃止され、公営企業の利益及び資本剰余金の処分等に関する新たな条例がつけられた。

■ 平成25年4月から28年3月31日までの3カ年間で超高速船レインボーJの指定管理者を隠岐汽船㈱に指定する。



来年4月就航のレインボーJ(デザイン画)

## 4月11日第2回臨時議会

■ 新消防庁舎建設で用地の年度内取得が困難となり予算を減額、また救急デジタル無線共同整備3カ年事業の一部変更が生じたため予算を総額2705万円減額。

■ 超高速船レインボーJの予備部品一式を1億9005万円で購入。

## 5月24日第2回定例会

■ 議長・副議長の選挙

議長 仲吉 正 議員  
(西ノ島町選出)  
副議長 安部和子 議員  
(隠岐の島町選出)

■ 仁万の里新築工事で建築主体工事に洗濯機・乾燥機・厨房機器・畳設置工事費を追加したため3090万円増額契約変更。



建築中の仁万の里の様子

■ 平成25年度の補正予算は、新消防庁舎建設の用地取得費、登記手数料、用地造成、設計費などである。

以上提出された議案は全て原案の通り全会一致で可決承認された。

報告者 安部和子

## 皆さんからの 陳情や要望

番号	件名	提出者	付託委員会	審査結果	理由
陳情第2号	隠岐の島町農業公社組織改編に伴う経営支援等の改善について	認定農業者連絡協議会 代表：高梨好隆 他3名	総務産業建設 常任委員会	趣旨採択	他の農業従事者との不公平感は解決すべきであり、執行部が対応すべき問題である。
請願第1号	過労死防止基本法制定に関する意見書の提出を求める請願（紹介議員：高宮陽一）	過労死防止基本法制定実行委員会 関西事務所 弁護士：岩城 穰	総務産業建設 常任委員会	採 択	過労死は、現在大きな社会問題となっており、意見書を提出すべきと全会一致で採択した。

### 編集後記

梅雨明けの猛暑はいつものこととは言え、うんざりです。皆様はどうでしょうか。でも、これで田の稲はすっかり育ち緑が濃くなり、収穫の秋を迎えることができるのです。山の木々もそうです。

臨時号でお知らせしたように5名の新編集員も決まり、新たなことに取り組んでいこうと話し合っています。

今号では、農業公社分社化の経過を町民の皆様様に理解していただきたく、紙面を割いて特集を組みました。

これからも、このような企画を続けたいと考えています。皆様のご意見など、なんでも結構ですので、お寄せ下さい。

#### 【投書先】

委員長 斎藤幸廣  
議会事務局  
FAX(2) 3396